

猪苗代湖水生植物資源化検討に向けた資源等把握のためのヨシ刈り業務委託 仕様書

1 目的

猪苗代湖湖岸に繁茂する水生植物の資源化に向けて、その種類や量を把握し、水質・景観・生育動植物に配慮した資源循環とするための利用条件を検討する目的で試験的なヨシ刈りを行う。

この仕様書は、福島県（以下「発注者」という。）が受注者に委託する猪苗代湖水生植物資源化検討に向けた資源等把握のためのヨシ刈り業務を円滑かつ効率的に運営するため、必要な事項を定めることを目的とする。

2 委託業務の内容

委託業務の内容は、次の(1)～(4)のとおりとする。

(1) ヨシの刈取場所及び刈取面積

猪苗代町大字三和字前田地内におけるヨシ原の一部（図に示す約 0.8ha）とする。

なお、刈取場所及び仮置場所の詳細については発注者と協議すること（今回はヨシの刈り取りのみとし、他の樹木等の伐採及び枝払い等を行わないこととする。）。

(2) ヨシの刈取方法等

ア ヨシは肩掛け式の草刈り機・手刈りにより刈り取る（重機は使用してはならない。）。

イ 刈り取ったヨシは長さ 60cm 程度に切断する（会津若松地方広域市町村圏整備組合では、あらかじめ 60cm 程度に切断しないと受入しないため。）。

ウ ヨシ刈取や切断で発生したヨシ屑を回収すること。

エ 当該作業を行うにあたり河川法、自然公園法、福島県猪苗代湖及び裏磐梯湖沼群の水環境の保全に関する条例等に関する申請等手続きは発注者が行うこととする。

なお、受注者は当該作業を行うにあたり実施日や注意事項等について刈り取りを行う前に発注者と十分協議した上で実施するとともに、各種法令で保護の対象となる木竹等に目印を事前に付ける等、誤って伐採しないよう留意すること（今回はヨシの刈り取りのみとし、他の樹木等の伐採及び枝払い等を行わないこととする。）。

(3) ヨシの生育量等の把握

刈り取ったヨシについて 10 本以上の長さを計測すること。また、ヨシ刈取場所内において、1m×1m の範囲にくぎり当該範囲内のヨシを刈り取り、刈り取った本数を計数すること（10 か所以上）。

(4) 刈り取ったヨシの運搬・処分

刈り取った後のヨシ原からヨシの図に示す仮置場所への運搬は手作業、若しくは不整地運搬車によるものとする。

なお、仮置場所は刈り取ったヨシを仮置きする前に下草の刈り払い等を行っておくこと（仮置場所から刈り取ったヨシ等の運搬後はヨシ刈取や切断で発生したヨシ屑等

を回収すること。)

刈り取ったヨシ等は、会津若松地方広域市町村圏整備組合（会津若松市神指町大字南四合字深川西 292-2）に運搬し、関係法令に基づき適正に処理する（会津若松地方広域市町村圏整備組合に搬入する量は1日当たり最大でも1.5トンとすること。)

なお、ヨシを結束する縄玉（経9ミリ程度のもの）など業務に必要な消耗品等はあらかじめ受注者において準備すること。



図 ヨシ刈取場所及び刈り取ったヨシの仮置場所

3 提出書類

受注者は次に掲げる書類のほか、発注者が必要と認める書類を発注者の指定する日までに提出しなければならない。

- (1) 林業・木材製造業労災防止協会福島県支部等が実施している「刈払機取扱い作業者に対する安全衛生教育」をヨシ刈り作業着手前に受講し、「刈払機作業安全衛生教育修了証」の写しを速やかに提出すること。

なお、受講料は受注者の負担とする。

4 成果品

受注者は、次の(1)～(4)に定める書類を発注者の指定する日までに提出しなければならない。

- (1) 委託業務の実績（作業期間）を明記した書類（作業日報と会津若松地方広域市町村圏整備組合への搬入伝票の写し等）
- (2) 作業場所における作業着手前、作業状況及び作業完了後を示す写真
- (3) 刈り取ったヨシの長さの計測結果及び1m×1mの範囲においてヨシを刈り取った本数。

(4) 委託業務完了報告書（様式任意）

5 その他

- (1) 本仕様書に記載されていない事項であっても、業務遂行にあたり必要な事項については、受注者の責任のもとで充足すること。
- (2) 本業務を遂行するにあたり必要な消耗品等は受注者の負担において準備すること。
- (3) 本仕様書に定めのない事項及び記載内容に疑義が生じた場合には、その都度、発注者と受注者が協議して定めるものとする。